

資料編

(1) 配慮義務としての合理的配慮

周囲（学校）の配慮義務としての合理的配慮は、子どもの学習や学校生活上の困難を捉え、個々の障害状況に応じて提供します。

■ 視覚障害のある子どもの

| | | |
|-------------|--------------|------------------------------|
| 読みの難しさ | 教科書の読みの困難 | ← 拡大教科書、拡大読書器、書見台の用意 |
| | 学習プリントの読みの困難 | ← 拡大プリントの用意、白黒反転文字・書体への配慮 |
| 眩しさによる学習の困難 | | ← 照度調節（カーテンを引く等）、サングラス着用の許可 |
| 長さの測定の難しさ | | ← 弱視用ものさしの用意 |
| 実験・観察の難しさ | | ← 実験内容の厳選、弱視レンズの用意、写真・ビデオの活用 |
| 体育の活動の難しさ | | ← 学習内容への配慮（ボール運動等への代替内容の用意等） |
| 地図の読み取りの難しさ | | ← 内容を厳選し配色を工夫した補助プリント（地図）の用意 |

■ 肢体不自由のある子どもの

| | | |
|---------------|-------------------|-----------------------------------|
| 校内移動の難しさ | 階段昇降の難しさ | ← 他者の見守り（安全確認）、移動補助 |
| | 昇降口等の段差歩行の難しさ | ← スロープの設置 |
| | 短時間の距離のある教室移動の難しさ | ← 移動にもとづく授業開始時間の遅れの容認 |
| テスト解答時の書きの難しさ | 細かな漢字の書きの難しさ | ← 記入欄を大きくした解答用紙の用意 |
| | 書きの速さの難しさ（テスト時など） | ← 解答時間の延長等の配慮 |
| 和式トイレの使用の難しさ | | ← 身障者用トイレの設置 |
| 体育の活動の難しさ | | ← 学習内容への配慮 （走る・跳ぶ等学習の代替内容の用意等） |

■ 読み書きの難しさのある子ども（LD児）の

| | |
|------------------------------|---|
| 漢字の読みの難しさ | ← 読みの難しい漢字にルビをつける |
| 文章の読みの難しさ （文字・単語・行の読み飛ばし） | ← スリットシートを活用、テキストリーダー（音声読み上げ）の活用、支援教員による読みの補助 |
| 漢字の書きの難しさ | ← ひらがなによる筆記 |
| 文章の書きの難しさ | ← ワープロの活用 |

■ 聴覚障害の子どもの

| | | |
|---------------|--------------|-------------------------------------|
| 聞き取りの難しさ | ヒヤリング問題の困難 | ← プリントによる問題の代替 |
| | 教師の説明を聞き取る困難 | ← 教師の口の動きがわかりやすい座席位置、補助プリントの配布、防音環境 |
| 音読の不明瞭さ | | ← 音読箇所の明示、ありのままの受容 |
| コミュニケーションの難しさ | | ← 手話の使用、必要な筆談 |

■ 自閉症の子どもの

| | |
|-----------------|--|
| 指示理解の難しさ | ← 写真等の視覚情報を活用した指示、明確で端的な指示 |
| 日課等変更に対する対応の難しさ | ← タイムスケジュールの活用 |
| 興味の偏り | ← 得意な活動保障 |
| 活動の見通しをもつ難しさ | ← 情報の精選、視覚刺激を活用した物理的な環境の構造化、ワークシステムの導入、写真等の視覚情報を活用した指示 |
| 集団行動の難しさ | ← 個別的で受容的かわり |
| 会話の難しさ | ← 明確で端的な言葉かけ、個別的で受容的かわり |
| パニック | ← カームダウンルームの用意 |

(2) 本人・保護者の請求（要求）に応える合理的配慮義務の例

元来の合理的配慮は、当事者の請求に応えるものを言います。本人・保護者の請求（要求）と、それに応える合理的配慮義務の例をあげると、次のようなものが考えられます。

| 本人・保護者の請求（要求） | 合理的配慮 |
|--|---|
| <p>いじめを受け、不登校傾向がみられるようになった。本人はいじめを受けた友達と登校する時間をともにするのを拒んでいる。保護者は自分の子どもが他の子どもより登校時間を遅らせない。</p> <p>(小6 アスペルガー障害児保護者)</p> | <p>校内委員会でその子どもの登校時間が遅れることを了承。遅刻扱いもしないこととした。</p> |
| <p>運動会や運動会の練習で使用するピストル音に強い恐怖感を抱くので、子どもが運動会を休みたがっている。ピストルのスタート合図を他の手段に変えてほしい。</p> <p>(小5 自閉症児保護者)</p> | <p>職員会議で対応を話し合い、どの学年の種目も笛のスタート合図とすることを決定。</p> |
| <p>周囲が明るいときは徒歩で安全に下校ができるが、日が暮れるのが早い冬場は部活（器楽部）終了後、暗い道を一人で歩いて帰るのが難しい。冬場の下校時は母親の自家用車で帰りたい。</p> <p>(中2 弱視児生徒本人)</p> | <p>保護者の自家用車による迎えを了承。昇降口付近までの母親の車の乗り入れを許可。</p> |
| <p>狭い机の間を歩くのに苦労するので、自分の座席の位置を入口近くにしてほしい。</p> <p>(中1 下肢麻痺生徒本人)</p> | <p>座席を入り口近くの位置に変えることを決定。友達の了承も得た。</p> |
| <p>文章を読んで内容を理解したり、漢字を読んだり書いたりすることがうまくできず困っている。</p> <p>(小5 LD児保護者)</p> | <p>学校長に支援教員の配置を養成。教科書等の難しい漢字にふりがなをふるなどしながら、学習を支援。</p> |
| <p>咀嚼・嚥下がうまくできず、大きめの固形物を食べることが難しい。給食時、一口大の副食を与えてほしい。</p> <p>(小2 脳性麻痺児保護者)</p> | <p>学級担任が給食担当に一口大の大きさの食事を個別に用意するよう依頼。</p> |
| <p>文字が読みにくい。学校で拡大読書器を用意してほしい。</p> <p>(小5 弱視児保護者)</p> | <p>拡大読書器購入を検討する。購入までは書見台、ルーペを使用して対応。</p> |
| <p>教師の口の動きがよく見えるように、座席を前にしてほしい。</p> <p>(小6 難聴児本人)</p> | <p>学級担任が座席を前の位置に変えることを決定。</p> |
| <p>学習内容を説明するときなど、補助プリントを用意してほしい。</p> <p>(中2 弱視児本人)</p> | <p>学校長に支援教員の配置を要請。教科書等の難しい漢字にふりがなをふるなどしながら学習を支援。</p> |
| <p>身障者用トイレを設置してほしい。</p> <p>(中1 脳性麻痺児保護者)</p> | <p>学校長に伝え、早急な時期に工事に入るよう対応を図る。</p> |

出典：『合理的配慮とICFの活用』（西村修一著）